

2017年7月13日

トヨタホーム & ミサワホーム

## マンション共同事業「アネシア築地ステーションレジデンス」

○東京メトロ日比谷線「築地」駅直結、銀座を徒歩10分圏に捉える好立地

トヨタホーム株式会社（名古屋市東区、取締役社長 山科忠）とミサワホーム株式会社（東京都新宿区、代表取締役社長執行役員 磯貝匡志）は、東京都中央区築地でマンション共同事業「アネシア築地ステーションレジデンス」の販売を2017年9月下旬から始めます。



《銀座を徒歩圏に立地する「アネシア築地ステーションレジデンス」(イメージ)》

「アネシア築地ステーションレジデンス」はトヨタホームの分譲マンション「アネシア」シリーズを今後、首都圏で展開していく上で、フラッグシップとなるよう立地、デザイン、居住性にこだわりました。

マンションの1階には東京メトロ日比谷線「築地」駅コンコースへ直結するエレベータを備える一方、銀座へは徒歩10分圏と都心部へのアクセスに恵まれた立地となっております。外観は築地のランドマークにふさわしい重厚感を備え、インテリアについても上質感にこだわり、居住者に心地よい空間を提供します。

トヨタホームとミサワホームはさまざまな連携を通じて、お客様に快適で豊かな生活を実現する住まいを提供してまいります。

《「アネシア築地ステーションレジデンス」の特徴》

■類稀な駅直結マンション

東京メトロ日比谷線「築地」駅の真上に立地し、建物1階に駅コンコース直結のエレベータを設置。都内へのアクセスに恵まれています。



《駅に直通するエントランス（イメージ）》

■銀座界隈が徒歩圏内

銀座中央通りへは徒歩で10分圏内、銀座を普段使いにできる好立地です。

■3人の著名デザイナーを起用したこだわりのデザイン

◇外観デザイン（デザイナー：武田光史氏）

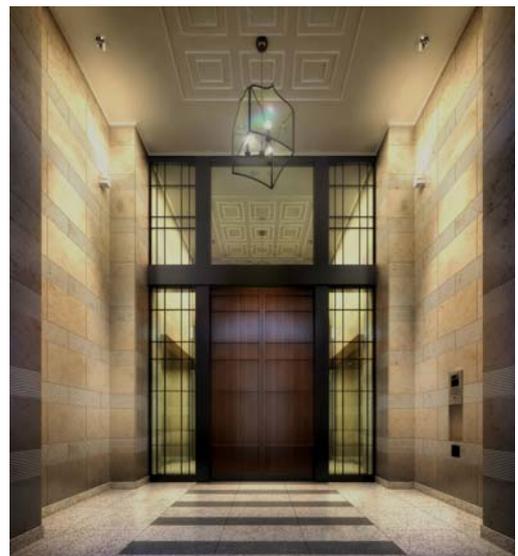
下層部は英国風に石造りの重厚感を出し、上層部は和風をイメージして、直線的水平のラインを強調。和と洋の調和を打ち出します。

◇共用部デザイン（デザイナー：笠原英里子氏）

エントランスは身を守ることをイメージした石造りから、徐々に木質の空間に移行し、安らぎを与えていきます。

◇インテリアデザイン（デザイナー：辻昌克氏）

「本物を感じる」がコンセプト。廊下の壁面を木壁にするなど、本物を随所に採用し、他では味わえない本物の空間を提供します。



《重厚感にあふれるエントランス（イメージ）》

《「アネシア築地ステーションレジデンス」の概要》

所在地	東京都中央区築地三丁目801番1他
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上15階 地下2階
総戸数	98戸
敷地面積	777.34㎡
用途地域	商業地域
間取り	1LDK～3LDK
専有面積	40.48～83.50㎡
最多販売価格	未定
入居予定時期	2019年3月下旬
売主	トヨタホーム(株)、ミサワホーム(株)
販売代理	三井不動産レジデンシャル(株)
施工	不二建設(株)
管理会社	三井不動産レジデンシャルサービス(株)
ホームページ	<a href="http://www.an-tsukiji-st98.com/shinchiku/C1606001/">http://www.an-tsukiji-st98.com/shinchiku/C1606001/</a>

以上